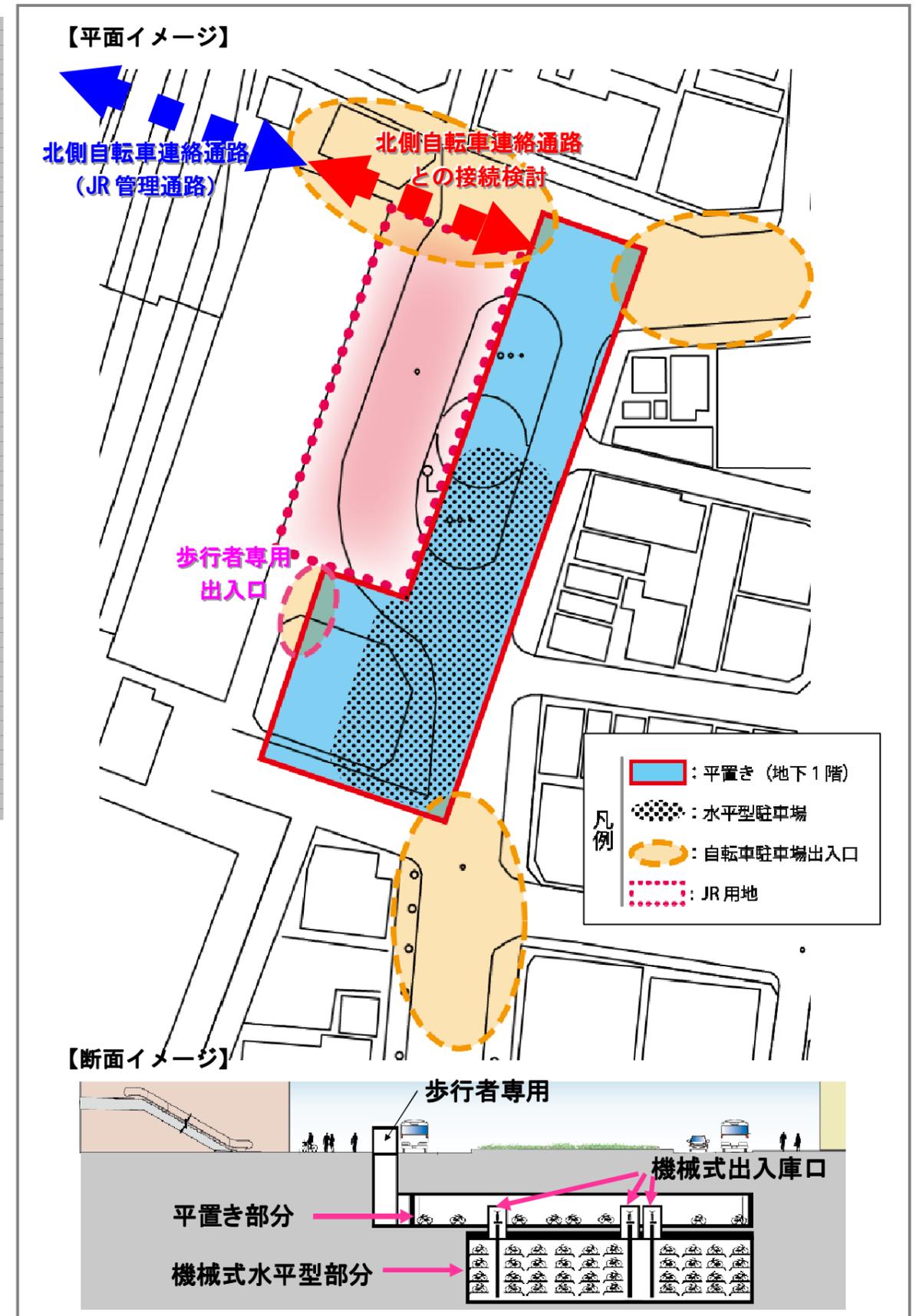


初動期整備計画 (東口駅前広場地下自転車駐車場の検討)

1. 計画条件

- (1) 収容目標台数
    - ・ 暫定自転車駐車場の解消による収容台数と放置自転車数の状況から約 2,000 台を確保
    - ※ JR 用地の活用を含めた検討
  - (2) 自転車駐車場形式
    - ・ 買物利用をはじめとする、多様な利用目的に対応できる自走式と、利便性が高い機械式を組合せるため、いったん地下へ自走式で降りてからの平置きと機械式を併用する。
    - ・ 機械式では、収容スペースをできる限り多く確保するのに適した水平型機械式を基本とする。
  - (3) 地下自転車駐車場出入口
    - ・ 駅前広場にアクセスする北・東・南側に設置
    - ・ 駅前広場内の自転車通行抑制のため、駅前広場端部へ設置
    - ・ 子ども連れや高齢者の利用に対応するための昇降施設の整備
    - ・ 鉄道利用者の利便性を考慮して、歩行者専用の出入口を設置
- 【留意事項】
- ・ 北側地下自転車連絡通路との接続を考慮
  - ・ 出入口までの主要なアクセス動線となる自転車走行環境を考慮
  - ・ 既存自転車駐車場の有効活用、分散型自転車駐車場整備等と並行

2. 初動期整備計画 (案)



<自転車駐車場形式>

機械式茶筒型+平置き 併用		機械式水平型+平置き 併用	
	茶筒型 約 1,800 台 平置き 約 200 台 合計 約 2,000 台		水平型 約 1,000 台 平置き 約 1,000 台 合計 約 2,000 台
	約 2,000 m <sup>2</sup>		約 4,400 m <sup>2</sup> B1 約 2,800 m <sup>2</sup> B2 約 1,600 m <sup>2</sup>
	(課題等) ・ 機械式茶筒型は地上部交通に支障があり施工困難 ・ イニシャル、ランニングコストが高い ・ 機械式は事前に車体の登録が必要		(課題等) ・ イニシャル、ランニングコストが高い ・ 機械式は事前に車体の登録が必要

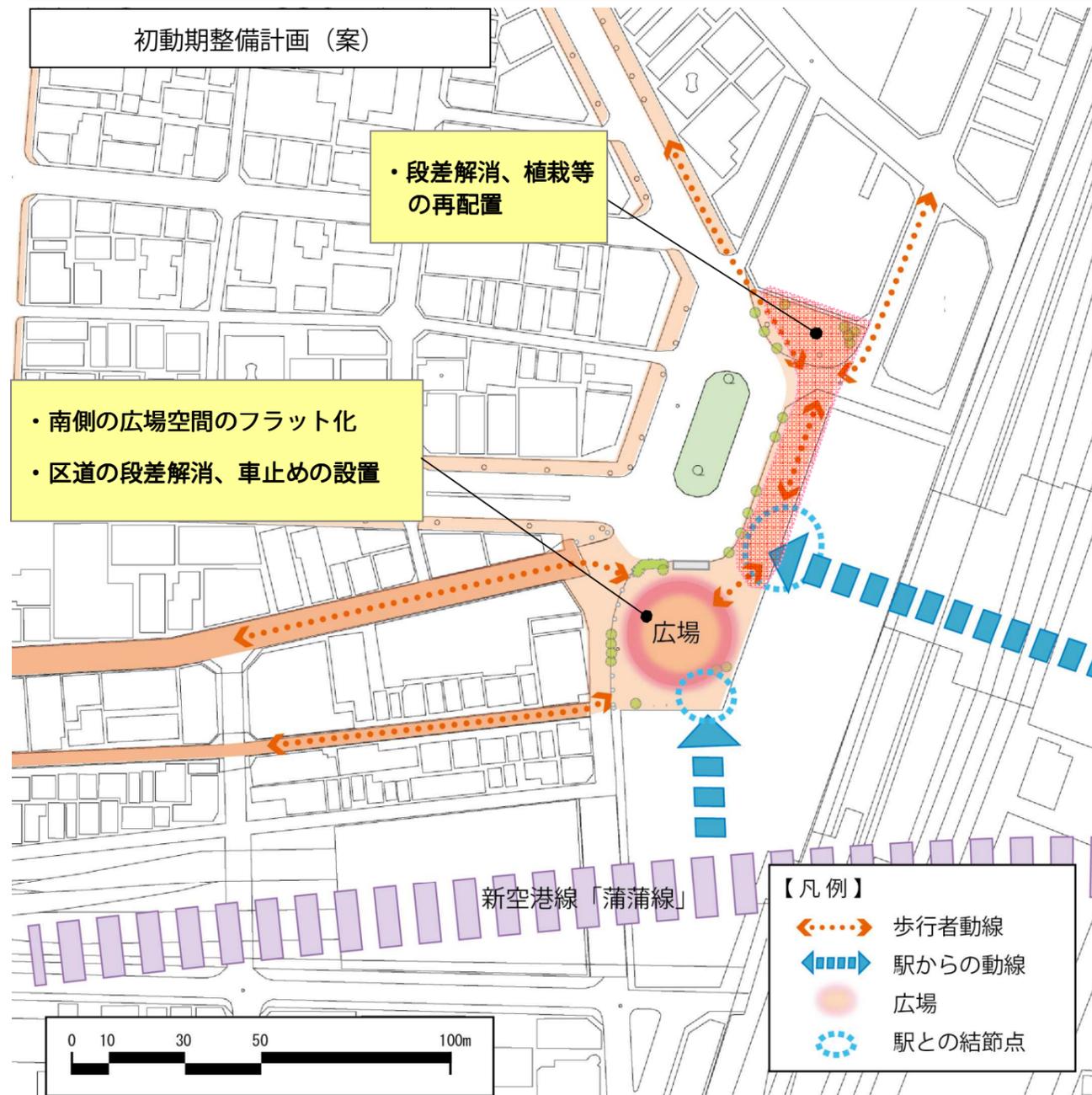
初動期整備計画 (西口駅前広場の検討)

資料14

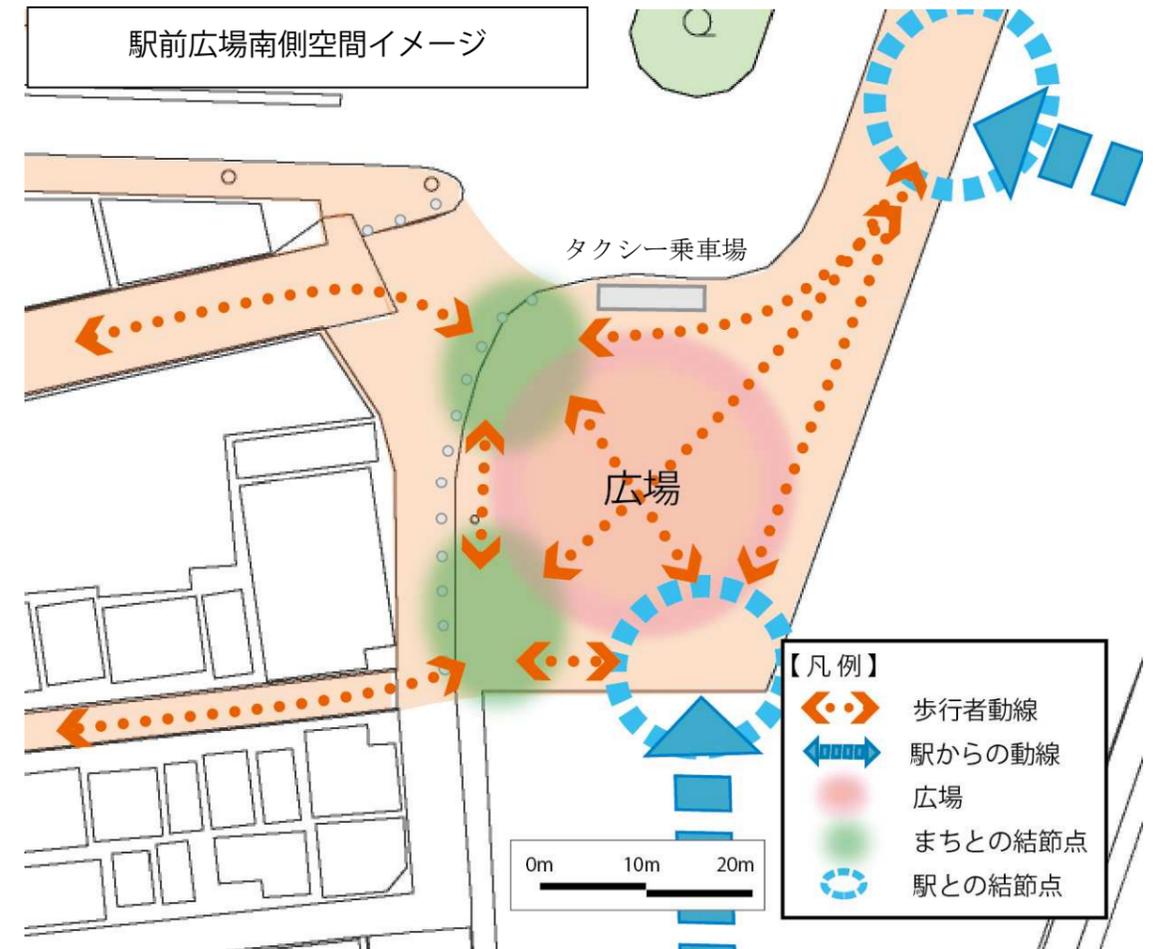
■ 西口駅前広場の整備内容

1. 駅前広場南側空間のフラット化
  - ・フラット化による歩行者動線、イベントスペースの確保
2. 歩行者動線の改善
  - ・北側の段差解消、植栽帯の再配置
  - ・南側区道の段差解消、車止めの設置

初動期整備計画 (案)



駅前広場南側空間イメージ



【例】日暮里駅前広場 イベントスペース (約 750㎡)

